

園と家庭が連携・協力しながら、1年間を通して子どもたちを育てていきましょう！



令和4年度 真和志こども園学力向上推進に関する取組

【真和志こども園の教育目標】

心身共に健康で心豊かな子を育成する
自分で気づく子 自分から行動する子 友だちと協同して遊ぶ子

【学力向上推進の目標】

幼児・児童・生徒の一人一人の「確かな学力」向上させ、「生きる力」を育む

【本年度本園のテーマ】

- 一人一人を大切にされた教育保育の実践
- 「よく動き、よく食べ、よく寝よう！」の実践

子どもたち一人一人思いや気持ちを丁寧に捉え、それを踏まえて、個々に必要な教育・保育の実践に努めます。

園でたっぷり遊び、十分体を動かせば、自然とおなかもすきます。また、適度な疲れは、よい睡眠をもたらし、早起きにも繋がります。それが、よい生活リズムをもたらし、園生活をはじめ家庭での生活等全てにつながっていくのではないかと考えています！

具体的な取組

1 園児一人一人が大切にされ、よさや可能性を認め合う学級経営

○一人一人が生かされ、育ち合う学級経営 ○教師や友達と関わり、認め合う学級経営

- ・ 幼児期の特性を理解し、子ども達の行動を肯定的に受け入れ、信頼関係を築きます。
- ・ 思ったことや感じたことを伸び伸びと表現でき、一人一人が認められる暖かな雰囲気の中で学級づくりをめざします
- ・ 達成感や満足感を味わう場面、葛藤する場面、折り合いが必要な場面等様々な体験が生まれるような環境構成を行います。
- ・ 「さん」づけ呼称を行い相手を敬う気持ちを育みます

子ども達との信頼関係の構築が幼児教育の出発点と考えています。

様々な体験から生まれる、様々な学びを丁寧に拾い、子ども達の成長を促します。

2 「確かな学力」の向上

○ 園生活や遊びを通して、学びの基礎を培う ○ 豊かな心情や健やかな体を育む保育の充実

- ・ 自ら関わろうとする意欲を高める為の生活環境の見直しや、いろいろな素材との出会いを工夫し、主体的な活動を促す環境を作ります
- ・ 感動体験を通して生まれる子どもたちの言いたい話したい気持ちを教師は丁寧に受け止めたり、それを発表できる場面をもちます
- ・ 毎日の朝の会、帰りの会における、当番タッチや発表タイム等を実施し、みんなの前で発言、発表する経験をさせます
- ・ 毎日の絵本の読み聞かせと週1回の絵本貸出を実施します
- ・ 絵本の読み聞かせボランティアを実施します（保護者）→検討中
- ・ 遊びの中で数学や文字に興味や関心を育めるような環境を工夫します
- ・ 5年生との交流をはじめ、小学校と連携を強化しスムーズな就学をめざします → 交流については、感染状況によって可否を判断する
- ・ 発育測定や検診等を通して、自分の身体へ関心を高め、健康に過ごせるようにします
- ・ 日々の安全指導や、毎月の避難訓練等を通して意識を高め、安全な生活が過ごせるようにします
- ・ 家族の仕事に興味や関心をもちせるようにします
- ・ 園に出入りする業者（教材業者、郵便配達員等）さんにかかわりをもたせ、仕事に対する興味関心につなげます

感動体験から生まれる、子どもたちの言いたい、話したい気持ちを丁寧に受け止めてくれる人の存在は、自分の思いを積極的に話し、伝えることができる子、また、人の話をよく聞こうという態度の育成に繋がると考えています。

各クラスでの担任による毎日の読み聞かせ、絵本貸出、保護者による読み聞かせボランティア等を通して、子どもたちが多くの本に出会い、親しみをもてるようにしています。それが、文字や数字への興味、関心に繋がっていきます。

「かわりがある身近な人（例えばおうちの方、園に出入りする業者の方）の仕事ってなんだろう？どんなことをしているのだろう？」興味、関心を広げるきっかけを作っていこうと考えています。



3 基本的な生活習慣の形成

○望ましい生活習慣の確立 ○規範意識・マナーの育成

- ・ **こども園・小学校共通実践 「みそあじこいし」** *別紙参照
- ・ 「早寝、早起き、朝ごはん」、はみがき等を習慣化するために、生活習慣チェック表の取り組み等、家庭との連携を密にします
- ・ 生活基本調査を年間2回実施し実態把握を行い援助に繋がります
- ・ 「よく動き、よく食べ、よく寝よう」の実践
ジャングルジム、うんてい棒、鉄棒等、園庭の遊具等を活用し**全員**で**チャレンジ**する時間をもうけ興味を広げるきっかけを作ります
- ・ **チバリョーカード**を活用し意欲的に挑戦できるようにします
(なわとび、鉄棒、うんてい棒、やっところ、竹馬、リズムダンス等)
- ・ 鬼ごっこ、いすとりゲーム、ひっこしゲーム等の集団遊び、リレー大会、ドッチボール大会等のルールのある遊びを計画し、実施します
- ・ 友達、教師、家族、園に出入りする様々な人と**あいさつ**を交わしたり、話す場面をもたせたり、かかわりが深まるようにします
- ・ 遅刻する子がいない、**8時15分までの全員登園**をめざします
- ・ 毎日の生活の中で手洗い、うがい、手指の消毒、歯みがきに徹底して取り組みます
- ・ 生活の仕方や整理整頓の必要性に気づかせ、生活しやすいように皆で整えようとする気持ちをもたせるようにします
(身の回りの始末、活動の準備や片づけ、当番活動)
- ・ よいことや悪いことがあることに気づき、考えながら行動できるように援助します
- ・ 決まりを守らない子がいた時やトラブルが起こった時には、学級全体に返し、話し合いを行い、**みんなで考える場面**をもちます
- ・ 共同の遊具や用具を大切に、みんなで使う経験をもたせるようにします
- ・ 給食や栽培活動を通して、食育の充実を図ります
- ・ みんなで一緒に食べる時のマナーについて指導します
- ・ スマートフォンやゲーム機器の適切な利用等について、子どもたちと一緒に考える場を持ちます



自分で考え、自分のことは、自分でできるように身の自立をめざしています。子ども達に、「早寝、早起き、朝ごはん」の習慣がしっかりみにつくように力を合わせて協力していきましょう！

毎日、園庭に出て、友達と一緒にたっぷり体を動かして遊ぶ時間を大切にしています。いろいろな運動遊びに挑戦させ、課題をクリアした子にチバリョーカードを発行し子どもたちの興味や意欲を引き出すようにしています。進んで戸外で遊び、十分に体を動かすことができる子の育成をめざしています。

自分からあいさつできる子は、まだまだ少ないです。特に力をいれて取り組んでいきたいと思います。

遅刻している子は、家庭でも原因を考え、8時15分間に合う様工夫をお願いします。

ケンカやトラブルも、教師はすぐに仲裁することもあれば、子どもたち同士で解決するのを見守ることもあります。また、クラスに返し、みんなで考える場面をもつことも・・・ケンカやトラブルは、当事者だけではなく、その様子を見ていたまわりの子にとっても、いろいろな学びがあることが多いです！

給食をいただきながら、メニューに使われている、材料や栄養について考え、話し合う場面を持ちます。おはしの持ち方、配膳の仕方等マナーについても学びます。



4 学力向上マネジメント ※職員の取り組み

○PDCAサイクルを生かした教育・保育の実践

- ・ 保育の計画案（月案・週案）を立案し保育を実践します。また、日々の保育記録をもとに反省・評価を行い保育改善を図ります。
- ・ 計画的に園内研修を実施し、保育改善を図ります。
- ・ 職員同士で保育参観を行い、意見交換を行うことで保育の質の向上を図ります。
- ・ 公開保育を実施し、近隣の保育所（園）や小学校と合同研修会を実施します

メモ